

# Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより  
第129号

## ななえ古写真物語

VOL. 129

### 軍川変則小学校

軍川小学校のはじまり

大正6年か？

軍川地区



少し前の新聞で、大沼地区にある小学校3校が統合になりそうだということを知った。驚きである。大沼地区の小学校は歴史ある学校が多く、大沼小学校は明治37年、東大沼小学校は明治42年、平成18年に閉校となった西大沼小学校も明治32年に開校と、どれも明治後半には開校している。写真の軍川小学校は、明治13年に開校した大沼地区で最も古い小学校で、開校時の大沼小学校が、軍川小学校付属の特別教育所だったほどである。

開校には、当時軍川村の総代を務めていた松本左エ門が、村の開祖といわれる林八郎兵衛などと協力して、村民から寄付金を募り、10坪ほどの校舎を建設し「軍川変則小学校」としたのが始まりであると「七飯町史」には記されているが、なぜ「変則小学校」だったかについては、明記されていない。

英語教育が普及し始めるた明治期、外国人教師が英語を直接教える学校を「正則」、日本人教師が翻訳を教授する場合に「変則」を用いたようであるが、軍川小学校で英語教育を行っていたかは不明で、ことさら、なぜ「変則」という名称がつけられたのか謎が残る。あるいは、教師ではない者が教鞭をとったからだろうか。

そもそも、小学校に限らず、軍川は大沼地区の中でも早くに開墾が始まった場所である。このあたりに居住していた「イクサンダ」というアイヌ酋長の名にちなみ村名がついたとか、「イキサ」というアイヌが居住していたことから、このあたりを「飯草」と呼び、そこを流れる川を「イキサ川」と呼んでいたが、転化し「軍川」となり、川にちなんで「軍川村」になったともいわれる。

集落の始まりとしては、嘉永2年(1849年)に、下総国から林八郎兵衛らが移住し開墾を始めたのが開基といわれ、その後、元治2年(1865年)には、相馬藩による開拓も行われた。もともとは、鹿部村に属していたが、明治2年に独立して軍川村になった。

ちなみに撮影年代は、校舎右側の壁色が異なることから、教室を増築した大正6年以後から、現在よりひとつ前の校舎が新築された昭和9年までの間と考えているが、歴史を語る上で写真は不可欠な資料だと改めて思った。

大沼地区の小学校の統合は、時代の流れに委ねるしかないようだが、出来ることならば、それぞれの小学校の歴史が、正しい形で後世に伝わる統合となることを願うばかりである。

## 1日

夜の博物館第3夜を行いました。今回は、「ホネ」のお話。動物の頭骨などを抱えてやって来たのは、この日の講師、八雲町郷土資料館学芸員の大谷氏。動物考古学が専門で、道内の発掘調査から出土した動物のホネからわかること、例えば同定の方法や部位の説明、鳥なら胸骨が発達しているのが特徴で、首のホネが多いことや、貝塚のお話では、貝を見分けるポイントとして、殻頂部（蝶番の部分）に注目し、右と左があり、成長線を数えて年齢がわかるなど、興味深いことを多く教えて頂きました。



## 8日

この日は友の会の方々に、開催中だったテーマ展『標本の博物誌』のギャラリートークを行いました。展示してある資料の解説は勿論ですが、細かな工夫を凝らした部分の展示手法も合わせて紹介をしました。ギャラリートークは、全国的に行われていますが、お客様との距離が近いので、忌憚のない意見や感想などを頂き、気付くことも多々あります。歴史館では、こうした時間をこれからも続けていきたいと思っています。



## 16日

ジュニア探検クラブは、「縄文探検」と題し、遺跡発掘の予定でしたが、雨の為に中止となり、縄文文化交流センターの見学と拓本の体験を行いました。学校の授業で縄文の勉強をした子も、そうでない子も、近くで見るたくさんの土器や石器、中空土偶など、実物から伝わってくる「モノ」の力は、きっと記憶に残るはず。拓本の体験は、少し技術が必要で、係の方の説明に耳を傾けながら、初めて使う道具に悪戦苦闘の子供たち。帰館後にも学芸員から、考古学の豆授業を受け、「古きを知る」雨の一日が終わりました。



## 10月の予定

日	月	企画展示開催中
1	月	
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	駒ヶ岳の植物観察会
7	日	
8	月	体育の日
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	企画展示最終日
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	ジュニア探検クラブ・町民文化祭
28	日	第59回七飯町民文化祭・第2会場
29	月	
30	火	
31	水	

10月の休館日はありません

### 熊ボッコ

素朴な可愛さが魅力の熊ボッコ。トドマツの木目を生かし、旭川で生まれた名産品です。事務室の入り口に置いてありますのでご覧下さい



### 編集後記 ~tawagoto~

突如鳴り響いた緊急警報におこされた北海道胆振東部地震。その後、大きな揺れがおとずれ、次の瞬間に街の灯が消えた。幸いにも当館では、大きな被害はなかったのだが、道内の博物館関係施設の被害も多かった。ブラックアウトになった時、ふと空を見上げ、星の多さに圧倒された。如何に街の灯りが明るく、そして私たちがどれだけ電気の恩恵にあずかっているかを知った。被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。（やまだひさし）

# Richart

~ピチャリ~

第129号

平成30年9月20日発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp